

2026 年 8 月 21 日

株式会社博報堂 D Y ホールディングス

株式会社 Hakuodo DY ONE

博報堂 D Y グループ、実践型 AI 研修「HassoAI ブートキャンプ」を提供開始
ーグループ約 3,000 人の研修実績を体系化、組織全体の AI シフトを支援ー

株式会社博報堂 D Y ホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役社長：西山泰央、以下 博報堂 D Y ホールディングス）と株式会社 Hakuodo DY ONE（本社：東京都港区、代表取締役社長：北爪宏彰、以下 Hakuodo DY ONE）は、実践型の AI 活用研修プログラム「HassoAI ブートキャンプ」を共同で開発し、提供を開始しました。

「HassoAI ブートキャンプ」は、全社員向けの AI 研修導入を検討している企業に向けた、実践型 AI 研修プログラムです。博報堂 D Y ホールディングスがグループ社員約 3,000 人向けに実施した大規模 AI 研修をベースとしています。

同研修において実践的コンテンツの共同開発と独自の「評価 AI」の提供を担った Hakuodo DY ONE が、この導入プロセスで培った実践的なナレッジを体系化しました。これを外部企業へ提供することで、生成 AI の実装・定着を加速させ、組織全体の AI シフトを支援してまいります。なお本取り組みは、博報堂 D Y グループの横断的な AI 専門家集団 HCAI Professionals の活動の一環です。



■背景

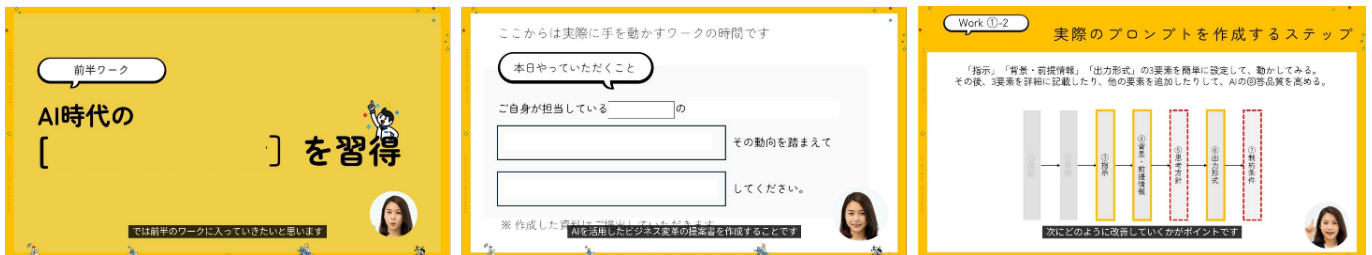
現在、多くの企業で生成 AI の導入が進む一方、実際に業務で活用できているのは一部のリテラシーの高い社員に限られており、組織内の活用格差が顕在化しています。具体的な活用シーンをイメージしづらい社員にとって、日常業務への取り込みはハードルが高く、組織全体の AI 活用に向けた実効性のあるアプローチが求められています。

しかし、既存の AI 研修の多くは座学中心の単発形式であるため、実務への定着や客観的な効果測定が難しく、習得状況の把握や継続的なフォローが困難なケースも少なくありません。また、生成 AI は今や単なる対話ツールではなく、各種ドキュメントや会議ツールとシームレスに連携する「業務インフラ」へと進化しています。これに伴い、教育のニーズも「プロンプトの習得」から「AI 活用を前提とした業務ワークフローの再設計」へと変化しており、それに応えられる実践的なプログラムの必要性が高まっています。

このような市場環境の変化を受け、博報堂D Yグループは、スキルの個人差を問わず組織全体における「発想(Hasso)」の転換を促し、実務レベルで定着を加速させるプログラムを設計しました。「AI アバター講師による90分の体系化された実践的な講義」と「自社開発の評価AIによる採点」を組み合わせることで、人事・DX担当者の運営負荷を抑えながら、習得度の可視化と短期間で全社的なAIシフトを実現することが可能です。

このたび、本プログラムを外部企業向けのソリューションとして広く提供することで、単なるツール導入にとどまらない、企業の全社的な「AI実装とカルチャー変革」を強力に後押しします。

■「HassoAI ブートキャンプ」の主な特長



(研修のイメージ)

1. 「AI による AI 研修」の実装と、運営・評価へのAIフル活用による効率化の実現

AI アバター講師による講義・ワークから、評価AIによる採点まで、研修プロセス全体にAIを活用した「AI による AI 研修」を提供します。博報堂D Yグループの大規模研修モデルをもとに、品質のバラつきや運営工数を最小化し、効率的な全社的なAIシフトを可能にします。

2. 複数の最新AI機能を連携させる「次世代業務フロー」の体感

単なる対話型ツールとしての利用にとどまらず、カスタムAIエージェント、高度なリサーチエンジン、ナレッジ分析ツール、そして日常的に使用するドキュメント作成ツールまでシームレスに連携させる「業務のエコシステム」を体験。AIを前提とした業務ワークフローを実務レベルで体得することが可能です。

3. 「プロンプト」ではなく「ワークフロー」を再設計する実践カリキュラム

本プログラムのゴールは「プロンプトの習得」ではなく、「業務プロセスの再設計」です。マーケティングや営業、バックオフィスなど、各部門の具体的な活用シーンに即したアウトプット（AI活用提案書など）を作成するため、受講後すぐに自らの実務へ適用できる実践性を備えています。

4. 「評価AI」によるスキルの客観的評価と定着化

研修後に提出される成果物を、独自開発の「評価AI」が客観的に採点し、5段階で可視化します。数千人規模であっても、一人ひとりの習得度に応じた具体的なフィードバックを即座に提供。「やりっぱなし」にさせない学習サイクル「学ぶ・実践・評価・改善」を回し切ることで、組織としてのスキル定着を支援します。

5. 企業のニーズに最適化する「フルカスタマイズ」提供

企業の業種や特定の業務課題、既に使用しているAI環境に合わせて、講義内容や評価指標を柔軟にカスタマイズします。自社の実務に直結した実効性のあるAI研修として提供します。

■今後の展望

今後は、本プログラムを起点に、実務レベルの定着や組織文化の変革までを支援する生成 AI 活用コンサルティングへと展開を広げていきます。生成 AI を「一部の層が使うツール」ではなく、誰もが日常業務に不可欠な「標準的なスキル」へと定着させることで、企業の生産性向上と持続的な成長に貢献してまいります。

【本件についてのお問い合わせ】

株式会社博報堂 D Y ホールディングス グループ広報・IR室 山崎、白川、塚田

E-mail : koho.mail@hakuhodo.co.jp

株式会社Hakuhodo DY ONE 広報担当

E-mail : info-pr@hakuhodody-one.co.jp